

船舶事故等調査報告書

平成25年7月25日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2013神第53号
事故等種類	衝突（岸壁）
発生日時	平成25年3月2日（土） 15時51分ごろ
発生場所	徳島県徳島小松島港徳島第1区のオーシャン東九フェリー岸壁 徳島市所在の徳島沖洲旅客船ふ頭灯台から真方位232°350m付近 （概位 北緯34°03.1′ 東経134°35.4′）
事故等調査の経過	平成25年4月15日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報	
船種船名、総トン数	旅客フェリー おーしゃんのーす、11,114トン
船舶番号、船舶所有者等	135437、オーシャントランス株式会社
乗組員等に関する情報	船長、一級海技士（航海）
死傷者等	なし
損傷	本船 船首部に凹損 岸壁 コンクリート部に一部欠損
事故等の経過	本船は、船長ほか16人が乗り組み、旅客26人及び車両189台を乗せ、船首約5.3m、船尾約6.5mの喫水で徳島小松島港のオーシャン東九フェリー岸壁（以下「フェリー岸壁」という。）を離岸し、ランプウェイが設置された補助岸壁と船首との距離を保持しながら右回頭中、回頭速度が遅くなったため、機関を後進にかけた際、通常より強く機関を使用したことから、後進行きあしが過大となり、行きあしを止めるために前進としたが、今度は前進行きあしが過大となり、更に機関を使用して姿勢制御を試みたものの、平成25年3月2日15時51分ごろ船首部が補助岸壁に衝突した。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北北西、風速 約10m/s、視界 良好 海象：潮汐 上げ潮の初期、海上 平穏 本事故発生時には、徳島市に強風及び波浪注意報が発表されていた。
その他の事項	本船は、離岸時、船体が後方に下がり過ぎれば、フェリー岸壁後方のドルフィン後部に敷石があるため、船尾部が接触してプロペラを損傷する虞があった。 離岸時には、風の影響はなかった。
分析	
乗組員等の関与	あり
船体・機関等の関与	なし

<p>気象・海象の関与 判明した事項の解析</p>	<p>なし</p> <p>本船は、徳島小松島港のフェリー岸壁から離岸作業中、船長が、回頭を行う際の操船を適切に行っていなかったことから、行きあしが制御できず、船首部が補助岸壁に衝突したものと考えられる。</p>
<p>原因</p>	<p>本事故は、本船が、徳島小松島港のフェリー岸壁から離岸作業中、船長が回頭を行う際の操船を適切に行っていなかったため、船首部が補助岸壁に衝突したことにより発生したものと考えられる。</p>
<p>参考</p>	<p>本事故後、運航者は、次の再発防止策を採った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 離岸時、これ以上後方に下がると危険とする目印としてフェリー岸壁上に同岸壁と補助岸壁の角部を基点とし、5m後方まで1m間隔の黄色のラインを引いた。</li> </ul>